

令和6年度第1回（第14回） 大阪市大規模事業リスク管理会議

報告 事業リスク管理の取組状況

- ・ 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）会場建設費

■会場整備の執行管理の厳格化について

- 毎年度の予算要求や補助金交付申請などのタイミングで行ってきた、執行状況の確認、検証に加え、**施工内容の変更などが生じる際には、原則、事前協議で対応**することとし、その**内容の妥当性を精査**
- 経済産業省のもとに、「**大阪・関西万博予算執行監視委員会**」が**設置**され、会場建設費についても**外部専門家等により定期的・継続的に点検**
(令和6年1月25日、令和6年3月1日、令和6年5月27日、令和6年7月29日、令和6年10月2日に開催)
- 協会において、
 - ・ **定期的に会場建設費の執行状況を公表**
大工区や主要施設などの項目ごとに、直近の契約済額、今後の執行予定額等を整理し、概ね3か月ごとに開催される理事会で報告するとともに、協会ホームページにも掲載
(令和6年3月13日、令和6年6月27日、令和6年9月13日の理事会で報告し、公表)
 - ・ **CFO（最高財務責任者）を設置**
【CFOの役割】
 - ①理事会において予算管理をはじめその他財務に関する事項を説明する。
 - ②予算の適正な管理を行うための協会事務局内の会議を定期的に開催し、関係する局長等に対して収支に関する報告を求め、必要に応じて助言または勧告する。

■予備費の執行について

- 予備費については、台風などの自然災害時における緊急補修対応や想定以上の物価上昇が生じた場合など**予期せぬ万一の事態が発生した場合での対応を想定**
- **執行に際しては、博覧会協会から事前協議を受け**、府市としても、その妥当性を確認
- 博覧会協会の理事会において、
 - ✓ 公式参加者との参加形態の調整に伴うタイプXのタイプC・休憩所等としての活用や新たに生じた区画の休憩所等としての整備、メタンガス対策は、昨年度の増額時に想定しえなかった事象であるため、工事費2,220億円の積算に含まれているものではない。
 - ✓ 他方、当該工事費の執行を見ると入札残といった隙間も生じている。このため、当該費用の執行にあたってはこうした隙間も活用するものの、予備費130億円からの執行の可能性はある。
 - ✓ いずれにせよ、これら費用については会場建設費総額2,350億円に対応するものであり、新たな増額となるものではない。と報告された。
- 実際に予備費を執行する見通しとなった場合は、あらかじめオープンな場で博覧会協会からの説明を受けたうえで、府市として内容の妥当性を確認していく。

進捗状況等について

- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） -

■会場整備の進捗状況

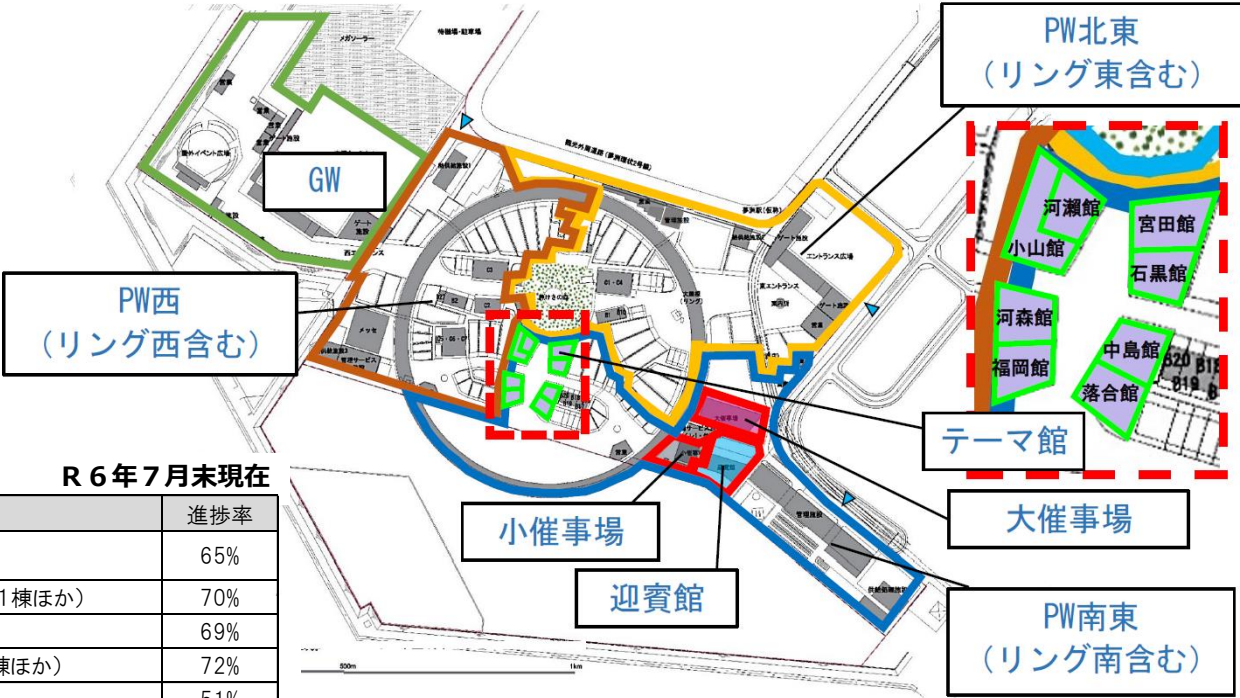
- 博覧会協会による会場整備（催事施設、供給施設、ランドスケープ、テーマ館、パビリオンタイプX、大屋根リング等）について、現在、2025年の開催に向けた整備が進んでいる。
- なお、パビリオンタイプB、Cについては、7月までに建物が完成し、順次引き渡しされており、参加国において内・外装工事や展示工事が実施されている。また、タイプXについても、10月末以降、順次、参加国に引き渡される予定。
- 大屋根リングについては、8月21日に1周約2 kmがひとつにつながったところ。現在、エレベーターやエスカレーターの設置、屋上緑化等の工事を実施しているところ。



[公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会臨時理事会公表資料（2024年9月13日）より抜粋]

進捗状況等について

- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） -



● 大工区の進捗状況

R 6 年 7 月 末 現 在

名 称	進捗率
大工区（PW3工区及びGW工区）	65%
PW北東工区（大屋根650m、Bパビリオン2棟、Cパビリオン1棟ほか）	70%
PW南東工区（大屋根740m、Bパビリオン1棟ほか）	69%
PW西工区（大屋根730m、Bパビリオン2棟、Cパビリオン3棟ほか）	72%
GW工区（屋外イベント広場、西ゲートほか）	51%
※大屋根リング(木造建築部分が完成8/21)	100%

※進捗率は、「工事費用（出来高）／総工事費用」で算出。
ただし、大屋根リングは、「建て方着工長さ/リング長」で算出

● 個別の施設の進捗状況

	施設名称	進捗状況	工事着手時期
催事施設	大催事場	鉄骨建方完了、内外装工事中	R5.12
	小催事場	本体：鉄骨建方完了・帯屋根、プレハブ棟：上屋建方	R5.10
	迎賓館	鉄骨建方完了、屋根工事中、防水工事中、水盤工事中	R6.1
供給施設	電気供給施設	高圧地中幹線完了、各施設へ順次送電工事中	R5.6
	熱供給施設	熱源設備据付完了、配管工事中、電気工事中	R5.3
土 木	基盤整備	基盤整備工事について概ね完了	R4.10
	静けさの森	植樹予定本数1,500本のうち約750本植樹済	R5.10

※石黒館、中島館は現物協賛

R 6 年 7 月 末 現 在

	施設名称	進捗状況	工事着手時期
テーマ館	宮田館	本体鉄骨建方完了、事務所内装工事中	R5.12
	※石黒館	屋根工事完了、内装工事中、外構工事中	R5.9
	※中島館	屋根(創造の木)工事完了、内装工事中、外構工事中	R5.10
	落合館	展示棟：ボクセルフレーム工事中プレハブ棟：内装工事完了	R6.1
	福岡館	展示棟：膜屋根ケーブル取付、管理棟：内装・設備	R5.11
	河森館	鉄骨建方工事完了、防水工事完了、内装工事中	R6.1
	河瀬館	1階躯体工事完了、木造建方工事中	R6.1
	小山館	北側建方完了、南側鉄骨建方工事中	R6.1

■海外パビリオンの状況（参加表明：161か国、9国際機関）

9月26日現在

●海外パビリオンタイプA

- ・参加表明 47か国
(うち、施工事業者が決定している国：45か国)
- ・着工済み 43か国

※タイプA：協会が参加国に敷地を提供。参加国が建物建設から展示まで実施

●海外パビリオンタイプB、C

- ・参加表明 109か国
- ・7月までに協会による建物整備は完了
順次引き渡し、参加国において内・外装工事や展示工事を実施

※タイプB：協会が建物を建設し、参加国に仕切られた区画が割り当て。
参加国が内外装を実施

※タイプC：協会が建物を建設し、複数の参加国が共同利用

●海外パビリオンタイプX

- ・参加表明 5か国
- ・10月末から12月末までに、協会による建物整備は完了予定
順次引き渡し、参加国において内・外装工事や展示工事を実施

※タイプX：協会が参加国に代わって建物を建設。費用は参加国負担。
参加国が内外装を実施

アメリカパビリオン イメージ図



フランスパビリオン イメージ図



進捗状況等について

- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） -

■海外パビリオンの出展状況 （2024年9月9日現在）

- （注1）2024年9月9日現在で見込まれる出展状況を示すものであり、出展準備の進展や様々な事情変化等により、今後追加・変更があり得る。
- （注2）地図内の丸番号は「施設番地」を指す。施設番地とは、会場内のパビリオンや催事施設、ショップその他来場者が利用する施設が所在する場所をわかりやすく表示するために設定したものを。施設番地のアルファベットは各ゾーン名称（C：コネクティングゾーン、S：セービングゾーン、P：エンパワーリングゾーン）を示す。



【コネクティングゾーン】			
C01 ネパール	セントビンセント及びグレナディーン諸島	S06 ラトビア共和国	南スーダン共和国
C02 ルクセンブルク大公国	ソマリア連邦共和国	S07 リトアニア共和国	モルドバ共和国
C03 ドイツ連邦共和国	タンザニア連合共和国	S08 欧州連合（EU）	モンゴル国
C04 大韓民国	中央アフリカ共和国	S09 ベルギー王国	ラオス人民民主共和国
C05 <コモンズ-F>（2か国）	ツバル	S10 イタリア共和国	リベリア共和国
アルメニア共和国	ドミニカ共和国	バチカン	S15 オマーン国
カザフスタン共和国	ナウル共和国	S11 シンガポール共和国	S16 ハンガリー
C07 アゼルバイジャン共和国	ハイチ共和国	S12 ブルガリア共和国	S20 ポーランド共和国
C09 イラン・イスラム共和国	パラグアイ共和国	S13 オランダ王国	S21 ルーマニア
C10 モナコ公国	東ティモール民主共和国	S14 <コモンズ-D>（25か国・地域）	S22 英国（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）
C11 トルコ共和国	フィジー共和国	アンティグア・バーブーダ	S23 アンゴラ共和国
C12 タイ王国	ベナン共和国	アンティグア・バーブーダ	【エンパワーリングゾーン】
C13 スベイン王国	ミクロネシア連邦	カメルーン共和国	
C14 サウジアラビア王国	モーリタニア・イスラム共和国	ギニア共和国	P01 アイルランド
C15 オーストラリア連邦	レソト王国	コンゴ民主共和国	P02 マレーシア
C16 インドネシア共和国	【セービングゾーン】	サントメ・プリンシペ民主共和国	P03 <コモンズ-A>（28か国）
C17 インド共和国	S01 <コモンズ-C>（10か国）	スーダン共和国	イエメン共和国
C18 ウズベキスタン共和国	イスラエル	赤道ギニア共和国	ウガンダ共和国
C19 セルビア共和国	ウルグアイ東方共和国	タジキスタン共和国	エスワティニ王国
C20 バングラデシュ人民共和国	ガボン共和国	トーゴ共和国	ガーナ共和国
C21 セネガル共和国	グアテマラ共和国	ナイジェリア連邦共和国	北マケドニア共和国
C22 エジプト・アラブ共和国	クロアチア共和国	パキスタン・イスラム共和国	ギニアビサウ共和国
C23 <コモンズ-B>（24か国）	サンマリノ共和国	パレスチナ	キルギス共和国
エチオピア連邦民主共和国	スロバキア共和国	ブータン王国	ケニア共和国
ガイアナ協同共和国	スロベニア共和国	ブルキナファソ	コンゴ共和国
ガンビア共和国	パナマ共和国	ベリーズ	コモロ連合
コートジボワール共和国	モンテネグロ	ホンジュラス共和国	サモア独立国
ザンビア共和国	S02 チリ共和国	マーシャル諸島共和国	スリナム共和国
シエラレオネ共和国	S03 チュニジア共和国	マダガスカル共和国	スリランカ民主社会主義共和国
ジブチ共和国	S04 カンボジア王国	マリ共和国	セーシェル共和国
ジャマイカ	S05 アルジェリア民主人民共和国		セントクリストファー・ネイビス
ジンバブエ共和国			セントルシア

P04 ヨルダン	P29 <国際機関等>（5国際機関）
P05 ベルギー共和国	アフリカ連合委員会(AUC)
P06 ボツワナ共和国	イーター国際核融合エネルギー機構(ITER)
P07 ギリシャ共和国	国際科学技術センター(ISTC)
P08 モザンビーク共和国	太陽に関する国際的な同盟(ISA)
P09 フィリピン共和国	東南アジア諸国連合(ASEAN)事務局
P10 国際連合(UN)	
P11 アメリカ合衆国	P30 国際連合(UN)
P12 フランス共和国	P31 国際赤十字・赤新月運動
P13 ベトナム社会主義共和国	P32 バレーン王国
P14 エルサルバル共和国	P33 トルクメニスタン
P15 カタール国	P34 アイスランド
P16 アラブ首長国連邦	P35 スウェーデン王国
P17 カナダ	P36 デンマーク王国
P18 ポルトガル共和国	P37 ノルウェー王国
P19 コロンビア共和国	P38 フィンランド共和国
P20 スイス連邦	P39 マルタ共和国
P21 オーストリア共和国	P40 チェコ共和国
P22 ブラジル連邦共和国	
P23 クウェート国	
P24 中華人民共和国	

（注）パビリオンの正式名称を示すものではない。

タイプXのC活用・休憩所等活用について

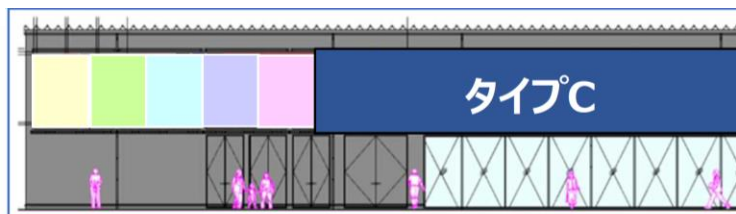
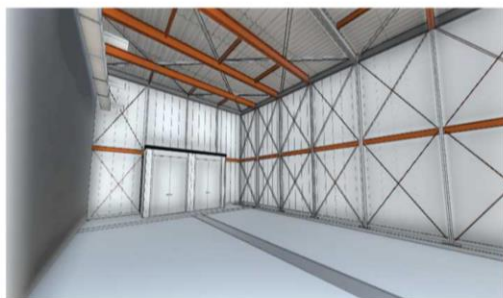
- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） -

1. 2024年9月13日現在、タイプXの受入れを表明した国は5か国であり、残る4棟についてはXとしての使用が見込まれない状況。
2. このため、同4棟のうち2棟はタイプC出展を希望する国の受け皿施設として、その他2棟は休憩所として整備を進めていく。

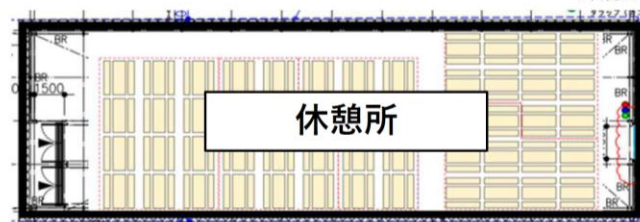
区分	No.	割当予定	面積	協会での整備予定・活用内容
X棟	1	X入居国（表明済）	約1000㎡	（X棟建築後、入居国へ引渡し）
	2	X入居国（表明済）	約900㎡	〃
	3	X入居国（表明済）	約500㎡	〃
	4	X入居国（表明済）	約500㎡	〃
	5	X入居国（表明済）	約900㎡	〃
	6	C希望国（C活用3区画）	約500㎡	タイプC活用に向けた整備・活用
	7	C希望国（C活用5区画）	約1000㎡	〃
	8	他用途活用	約300㎡	休憩所として整備・活用
	9	他用途活用	約1200㎡	イベント会場 兼 休憩所として整備・活用



〔X棟の外観・内観イメージ〕



外観はイメージ



イベント会場(未実施時には休憩所)



校外学習

+

新たに生じた区画の休憩所等の整備について

- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） -

- 公式参加者の参加形態に応じて新たに生じた区画については、人工芝舗装のうえ暑熱対策としての簡易テントや冷風設備を設置するなど、子ども向け装飾・遊び場も加味した休憩所等(附帯施設含む)や来場者用サービス・展示施設の整備を進めていく。

休憩所



画像・イラストは、現時点のイメージ

テーブル・椅子・暑熱対策



子ども向け装飾・遊び場



■メタンガス対策方針

1. 空气中濃度等の常時測定と公表

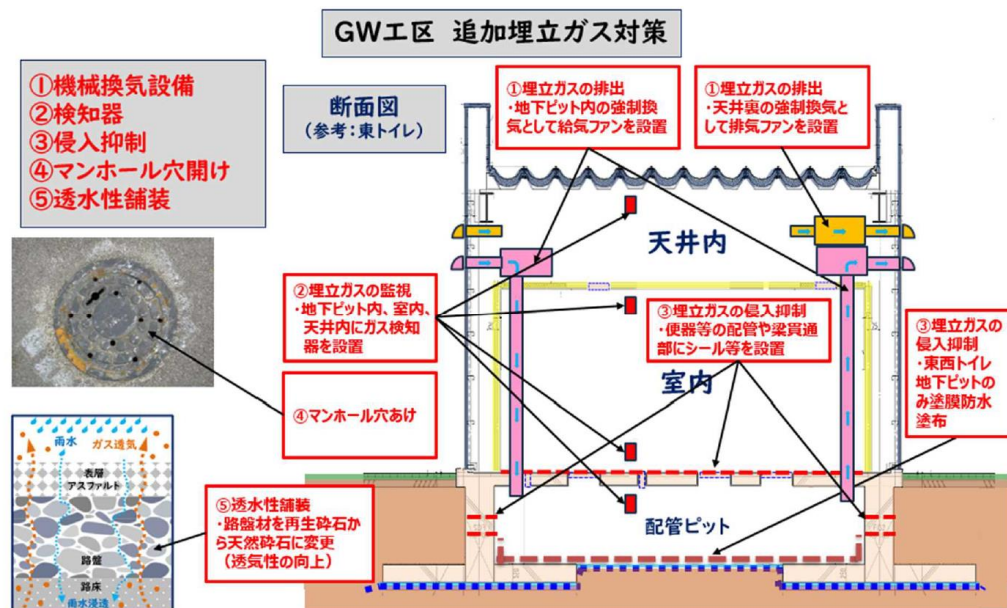
会期中、ガス濃度測定を継続的に実施し、博覧会協会HPにて、測定値を毎日お知らせする。
来場者等がわかりやすい公表内容を検討（工事期間中も、測定結果を定期的に公表）。

2. ハード面の安全対策

GW工区の施設は、2024年6月24日に公表した「会期中の安全対策」に基づき、①機械換気設備、②検知器、③侵入抑制、④マンホール穴開け、⑤透水性舗装、を基本として、施設特性に応じた対策を実施。
PW工区は、低濃度ガスが検知された地下鉄工事上部エリア、グリーンワールド工区近接エリアで、ガス濃度測定を重点的に実施し、その結果を踏まえて、必要な対策を実施。

3. 各施設・事業におけるソフト面の対策

今後、専門家の指導の下、各施設管理者や事業実施者が、事業実施に際して措置すべき安全対策をまとめ、その確実な実施を確保していく。



(参考) 協会ホームページにおいて会場建設費の執行状況を公表

2024年 8 月末時点
(単位：億円)

執 行 項 目	契約済			今後の予定		合計
	金額	主な内容	前回比 (2024年5月末)	小計	主な内容	
大工区	1,097		+61	192		1,289
PW北東工区	319	・大屋根（リッジ） ・パビリオンB、C ・管理施設、ゲート施設等の整備 ・附帯整備（各種サイン・舗装等）	+2		・会場安全対策等の軽微変更工事 ・会場附帯施設整備 ・施設等維持補修 ・リユース対応 ・会場舗装等撤去工事 他	
PW南東工区	275		+22			
PW西工区	311		+11			
GW工区	142		+0			
静けさの森工区等	29		+5			
会場附帯施設等整備	5		+5			
会場施設等維持補修業務	16		+16			
主要施設	277			+6		14
大催事場	91	・各施設整備	0	・各施設の安全対策等の軽微変更工事		
小催事場	47		0			
迎賓館	38		0			
テーマ館	53		+4			
若手建築家施設	48	+2				
土木工区	108	・園路基盤整備、水道引込 ・雨水管、污水管、給水管、 熱供給管、電気管路、通信管路	+1		26	・管路等撤去工事 他
インフラ設備 (電気・熱供給、通信、警備設備 等)	233	・電気(引込含)・熱供給・通信設備 ・水質改善設備 ・警備設備	+7	30	・各施設等の附帯設備整備 ・各工事工程に伴う変更対応 他	263
交通施設	148	・会場外駐車場等整備、付帯設備 ・桜島駅乗降場整備 ・万博アクセスルート整備	+8	31	・会場外交通施設、 施設関係設備、周辺整備 他	179
環境評価、委託関係	58	・基本設計業務 ・環境影響評価業務 ・プロジェクトマネジメント、コストマネジメント業務	+0	6	・現契約案件の継続追加業務 他 (プロジェクトマネジメント、コストマネジメント等)	64
合 計	1,921		+83	299		2,220
※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。					予備費	130
※一部、内訳端数調整有					総 計	2,350

■2,220億円の執行率： 86.5%

5年日本国際博覧会協会臨時理事会公表資料（2024年9月12日）より抜粋

■2,220億円の執行率： 86.5%